

第 二 次

登米市 総合計画

あふれる笑顔
豊かな自然
住みたいまちとめ



令和2年12月改定

第二次

登米市 総合計画

2016-2025

笑顔があふれる 登米市を目指して

年後の
登米市のまち
絵画コンクール

登米市内の小・中学生が描いた未来



【中学校の部】
最優秀賞「10年後の未来へ」千葉 友希さん(石越中学校)



【小学校高学年の部】
最優秀賞「にぎやかで笑顔いっぱいの町」只野 美夢さん(新田小学校)



【小学校低学年の部】
最優秀賞「へいわな10年後のとめしの町」
池田 龍磨さん(豊里小学校)

将来像 「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の 実現に向けて



登米市長 熊谷 盛廣

本市は、平成17年4月の合併により誕生し、間もなく17年目を迎えます。平成18年3月には登米市として初めての登米市総合計画を策定するとともに、平成27年12月には第二次登米市総合計画を策定し、市民と行政が一体となって目指すべき方向を定め、本市の持続的な発展に向け各種施策に取り組んでまいりました。

第二次登米市総合計画の策定から5年が経過し、少子高齢化の更なる進展や厳しい財政環境に加え、大きな自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症対策などの新たな課題も生まれております。

特に、令和3年度からは、普通交付税が一本算定に移行することで歳入が大幅な減額となり、これまで以上に持続可能な財政運営が求められます。

こうした社会経済情勢の変化などに的確に対応するため、令和3年度から令和7年度までの後期5年に向けて、第二次登米市総合計画の改定を行ったところであります。

今後も将来像である「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現に向けて、国連サミットで採択された持続可能な開発目標であるSDGsの理念を取り入れながら、市民の皆様と一緒に力を合わせて未来につなぐまちづくりを推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の改定にあたり、ご審議をいただきました総合計画審議会委員並びに市議会議員をはじめ、貴重なご意見やご提言をお寄せいただきました市民の皆様にご心から感謝申し上げます。



第1編

序論

第1章／計画策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の構成と期間	2
3 基本計画とSDGs	3
第2章／登米市の概況	5
1 位置と地勢	5
2 人口と世帯数	6
3 就業構造	7
4 交通網	8
第3章／登米市を取り巻く情勢	9

第2編

基本構想

第1章／基本理念	15
第2章／将来像	16
第3章／将来人口	17
第4章／土地利用	18
1 土地利用の基本的な考え方	18
2 土地利用の方向性	19
第5章／政策の大綱	22
1 生きる力と創造力を養い自ら学び人が「そだつ」まちづくり	22
2 安全安心な暮らしが支える笑顔で健康に「いきる」まちづくり	23
3 地域資源を活かし魅力ある元気な産業を「つくる」まちづくり	23
4 自然と生活環境が調和し人が快適に「くらす」まちづくり	24
5 市民と行政が「ともに」創る協働によるまちづくり	24
第6章／計画の体系	25

第3編

基本計画

第1章／計画の体系図	29
第2章／基本計画	35
基本政策1 生きる力と創造力を養い自ら学び人が「そだつ」まちづくり	35
政策の分野1 子ども	
個別政策1 子育て支援の充実	35
個別政策2 教育の充実	37
政策の分野2 生涯学習・スポーツ	
個別政策3 生涯学習の充実	39
個別政策4 スポーツ活動の充実	41

政策の分野3	文化・交流	
個別政策5	文化財保護と文化・芸術活動の充実	43
個別政策6	国際交流・地域間交流の推進	45
基本政策2	安全安心な暮らしが支える笑顔で健康に「いきる」まちづくり	47
政策の分野4	健康・医療	
個別政策7	健康づくりの推進	47
個別政策8	地域医療・救急体制の充実	49
政策の分野5	福祉・生活	
個別政策9	社会福祉の充実	51
個別政策10	生活支援の充実	53
政策の分野6	防災・安全	
個別政策11	災害に強いまちづくりの推進	55
個別政策12	安全なまちづくりの推進	57
基本政策3	地域資源を活かし魅力ある元気な産業を「つくる」まちづくり	59
政策の分野7	農林業	
個別政策13	農業の振興	59
個別政策14	林業の振興	61
政策の分野8	起業・創業	
個別政策15	地域資源を活かした起業・創業支援	63
政策の分野9	商工業・観光	
個別政策16	商業の振興	65
個別政策17	観光の振興	67
個別政策18	工業の振興及び雇用創出	69
基本政策4	自然と生活環境が調和し人が快適に「くらす」まちづくり	71
政策の分野10	環境・循環型社会	
個別政策19	自然環境の保護・多面的利用の推進	71
個別政策20	循環型社会・再生可能エネルギーの推進	73
政策の分野11	土地利用・社会基盤	
個別政策21	計画的な土地利用・生活環境の充実	75
個別政策22	社会基盤の整備	77
基本政策5	市民と行政が「ともに」創る協働によるまちづくり	79
政策の分野12	協働・参加	
個別政策23	市民参加と協働によるまちづくり	79
個別政策24	男女共同参画社会の推進	81
政策の分野13	行財政運営	
個別政策25	効率的な行財政運営の推進	83

第4編

重点戦略	90
-------------	----

資料編	97
------------	----

登米市のプロフィール

市章



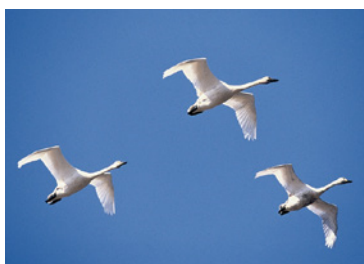
デザインは、登米市の頭文字、ひらがなの『と』をモチーフにデザイン化をしています。「水・緑・太陽」「豊かな実り」「元気な市民」をイメージするとともに、未来に向かって飛翔・発展する登米市、登米市民を力強く表現しています。

登米市の花鳥木



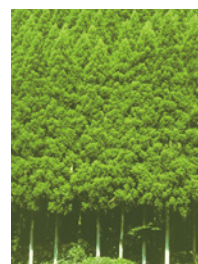
市の花「さくら」

「さくら」は、公園、学校、寺社など、登米市内いたるところで見られ、名所も多く、春を告げる花として、世代を超えて親しまれていることから、「さくら」を市の花としたものです。



市の鳥「はくちょう」

「はくちょう」は、伊豆沼をはじめ、登米市内各地に飛来し、冬の使者として、また、家族や仲間の絆を大切にする鳥としても知られており、登米市の自然・環境保護の象徴として、「はくちょう」を市の鳥としたものです。



市の木「すぎ」

「すぎ」は、里山や寺社、いぐねなど、身近に生育し、地域産材として広く知られており、まっすぐ伸びる姿を登米市の発展に重ね合わせ、「すぎ」を市の木としたものです。

登米市民憲章

わたしたちは、豊かな自然環境に恵まれた水の里をいつまでも愛し、ふるさとの誇れる歴史と伝統文化を受け継ぎながら、世界に羽ばたく住みよい登米市をみんなで作るために、この憲章を定めます。

- 1.わたしたちは、夢や希望を持ち、生き生きとしたまちをつくります。
- 1.わたしたちは、健康で働き、豊かなまちをつくります。
- 1.わたしたちは、スポーツや文化に親しみ、明るいまちをつくります。

登米市市民歌

作詞／松尾 江里也 作曲／松長 誠 編曲／小山 和彦

1

そよぐ稲穂は しあわせ色だ
豊かな水は 夢色だ
はくちょう飛び来る 絆の里に
咲くは桜か 歓びか
ああ 登米市に安らぐ 笑顔あり
ああ 登米市に安らぐ 笑顔あり

2

きょうの暮らしも 礎みれば
気高い歴史 あってこそ
進歩を楽しみ 古きに学び
手と手とりあう 町文化
ああ 登米市にゆかしき 浪漫あり
ああ 登米市にゆかしき 浪漫あり

3

明日にまっすぐ 理想を伸ばす
手本のような 杉木立
いのちを尊び 山河に抱かれ
愛が漲る わが郷土
ああ 登米市に未来の 息吹あり
ああ 登米市に未来の 息吹あり